

社会教育主事講習

1. 社会教育主事講習について

社会教育主事講習とは、社会教育法第9条の5の規程に基づき、社会教育主事となるべき者にその職務を遂行するに必要な専門的知識・技術を修得させ、社会教育主事となりえる資格を附与することを目的とするものである。主催は、文部科学省、実施機関は、国立大学（一部）及び国立社会教育実践センターである。本学では、1998年4月生涯学習教育研究センターの設置に伴い、かねてより社会教育主事講習の和歌山大学での実施を要望していた和歌山県教育委員会との協議を重ね、2000（平成12）年に実施に至った。

こうして2000（平成12）年に第一回を開設し、以来平成30年度現在まで、近畿地区大学の申し合わせもあり、和歌山県教育委員会の要望も受けとめて、3年に一度夏期の期間において、社会教育主事講習を受託し、開設してきた。

これまで、次のような開設の経緯、コンセプトをふまえて実施し、とくに演習プログラムにおいては、教育学部教育学教室をはじめとする学部教員をはじめ、各テーマの専門の全学からの教員の協力と共に、和歌山県教育委員会より全演習班において現役の社会教育主事を助言者として派遣いただく等のご尽力による実施体制を整えてきた。こうした人員体制と合宿演習による濃密な相互学習の展開によって、より充実した講習内容の展開が図られてきた。これまで近畿各府県から、府県及び市町村社会教育関係課・機関職員、学校教員、自治体職員等の受講者が本学に集い、2018（平成30）年（第7回）までの総数は、320人に及ぶ。

受講後、年次が経過して、職員・教員を退職している方々もおられるが、社会教育主事・関係職員、教員として講習で培った経験、スキルを生かして職業生活を継続され、その知見は行政のみならず、幅広く地域づくりの実践に生かされ、リーダーシップを発揮している。修了生の多くが異口同音に語るのは、講習によって得られた人脈とつながりであり、こうしたネットワーク、コネクションが、仕事の幅を広げたり、新たなアイデアを生み出したり、困難や課題に直面した際のよき相談相手として生かされているという。

本学では、修了生を対象とした「和歌山生涯学習・社会教育研究会」の支援、また、ゆるやかなネットワークの形成と交流、学びの場づくりとしての生涯学習研究会「なまけん会」を組織し、受講後のフォローアップ（継続学習の機会）に努めてきた。

2. 開設の経緯と本学における講習のコンセプト

和歌山大学における社会教育主事講習の実施は、センターにおける「悲願」（山本健慈）であり、初代センター長であった山本健慈、和歌山県教育委員会との協力、協働で講習を実現させた。その経緯は、次のとおりである。センター設置後、和歌山県教育委員会との間で近い将来において和歌山大学の社会教育主事講習の実施を見通して「社会教育主事講習の充実のために」（試案）が策定されている。

原案作成には、山本と中野一三（和歌山県教育委員会生涯学習課当時）が携わった。生涯学

習審議会答申「社会の変化に対応した今後の社会教育行政の在り方」（1998年9月）、中央教育審議会答申「今後の地方教育行政の在り方について」等の諸答申を踏まえ、これらの答申を全面的に実現するための人材養成が課題であり、かつ、これらの答申が指摘する課題に行政施策及び住民サービスの最前線で応えていくためには、それぞれの専門領域の教養と技術をふまえつつ、地域と住民の実態を深く総合的に認識し、かつ、住民と住民、行政間、住民同士の共同学習とネットワーク形成の援助者としての力量を持たなければならない。

この新たに求められる課題に対して総合的に対応しうるのが社会教育主事の専門的教養と技術であると考えられる。この意味で、従来社会教育主事の資格と能力として養成し、実績を重ねてきたものを整理したうえで、新たな必要項目を加え、内容編成を行うことが、喫緊、かつ適切な対応だと考えられる。

このため、和歌山大学の社会教育主事講習においては、社会教育主事の職務内容を

- ①「まちづくり生涯学習コーディネーター」
- ②「開かれた学校づくりコーディネーター」
- ③「地域における青少年育成活動コーディネーター」
- ④「家庭教育・子育て支援コーディネーター」
- ⑤「健康・生涯スポーツコーディネーター」

年度	期間	会場	受講者数
2000 (平成12)	7月21日(金)～8月25日(金)	和歌山大学松下会館(生涯学習教育研究センター)、紀三井寺「はやし」、セミナーハウス未来塾	62
2003 (平成15)	7月22日(火)～8月22日(金)	和歌山大学松下会館(生涯学習教育研究センター)、大泉研修所、セミナーハウス未来塾	46
2006 (平成18)	7月24日(月)～8月22日(火)	和歌山大学松下会館(生涯学習教育研究センター)、大泉研修所、セミナーハウス未来塾	51
2009 (平成21)	7月22日(水)～8月26日(水)	和歌山大学松下会館(生涯学習教育研究センター)、秋津野ガルテン、セミナーハウス未来塾	42
2012 (平成24)	7月24日(火)～8月24日(金)	和歌山大学松下会館(地域連携・生涯学習センター)、秋津野ガルテン、セミナーハウス未来塾、	35
2015 (平成27)	7月22日(水)～8月21日(金)	和歌山大学松下会館(地域連携・生涯学習センター)、秋津野ガルテン、セミナーハウス未来塾	48
2018 (平成30)	7月23日(月)～8月21日(火)	和歌山大学キャンパス内北4号館(産学連携イノベーションセンター他)、秋津野ガルテン	36

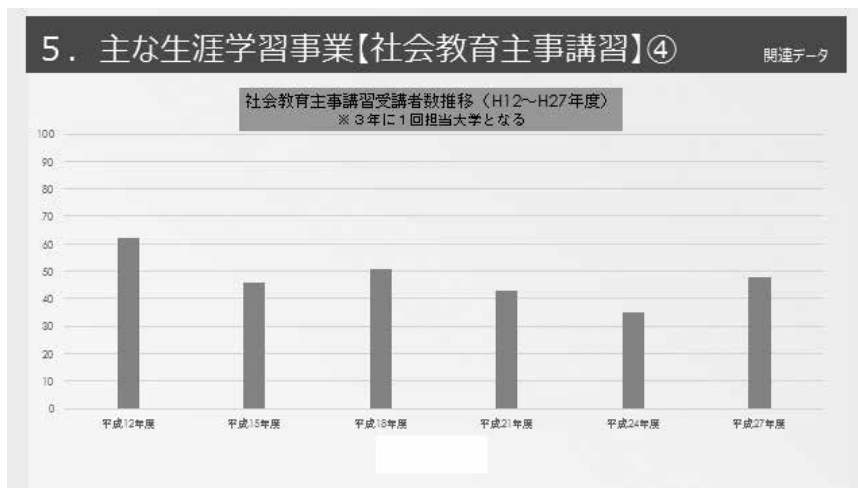
として整理し、自治体職員、学校教員、就学前教育・保育者、カウンセラー等とも互いに連携・協力し、学校や社会教育だけでなく、福祉やまちづくりも視野に入れ、地域の教育力の推進に従事できるよう新たな知識や技術を修得し、地域活性化の推進の核となりうる内容編成をすることとした。また、これらは具体的な科目内容に反映されるとともに、演習テーマのグループとしてプログラム化された。

演習テーマは、受講者の選択によるものとし、講師は、本学教育学部教育学教室教員の全面的な協力を得るとともに、和歌山県教育委員会による複数の社会教育主事の派遣を得て、宿泊研修も含めての濃密な時間を受講者とともに共有する充実した演習プログラムが展開され、受講者間の学びの深化を生みだしてきた。

4. 開催要項、科目名、単位数、内容・テーマ、教育方法、配分時間数及び担当講師、運営委員会名簿

(後記に年度ごとに別掲)

5. データでみる社会教育主事講習



平成 15 年度開講式あいさつ



平成 15 年度 スポーツ演習



平成 27 年度社会教育主事講習